

# 地域金融機関と共に進める、 ダブルケア（介護・子育て）関連事業者支援プロジェクト

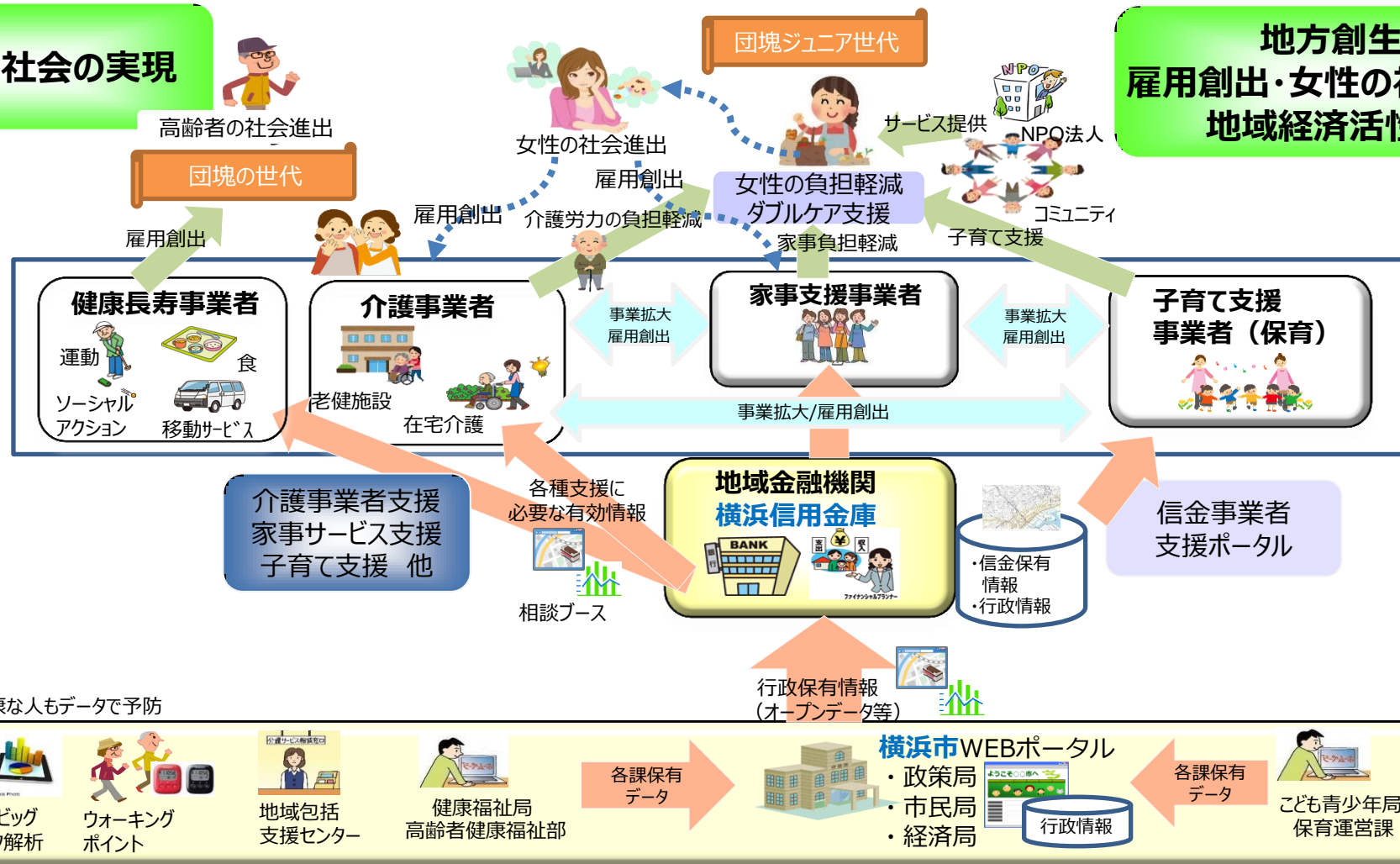
項目		記入欄
提案者	法人名	日本ユニシス株式会社
	URL	<a href="http://www.unisys.co.jp">http://www.unisys.co.jp</a>
連携する地方公共団体		横浜市（協力：倉敷市）

# 1. 趣旨・目的

趣旨：地域金融機関（信用金庫）がオープンデータの目利き役を担い、女性の社会進出に貢献するダブルケア支援事業者（介護・家事支援・子育て）に向けた、オープンデータを活用する新しい地域活性モデルを構築  
 目的：信用金庫のコンサルティング力の向上(リレーションシップバンキング強化)を図り、ダブルケア支援事業者に適切な情報をワンストップで提供

## 健康長寿社会の実現

## 地方創生 雇用創出・女性の社会進出 地域経済活性化



## 2. 提案の特徴

### 1. 地方創生に資する官金産一体プロジェクト

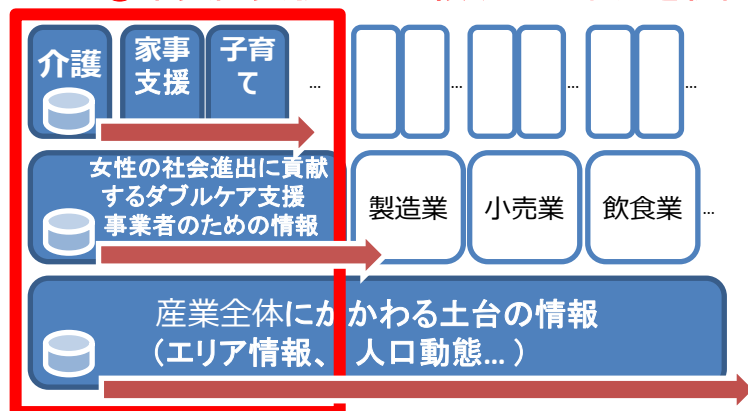
- ・地方公共団体からのオープンデータ等行政情報を地域金融機関が情報の再利用性・透過性を活かし、「情報の目利き」をした上で利用者への情報提供を実施する国内初の試み

### 2. オープンデータ利活用による産業支援・経済活性化プロジェクト

- ・「介護」「子育て」のダブルケアなど、社会的なサポートが必要な女性に焦点をあて、関連事業者のビジネス支援と新たな雇用創出による地域の底上げを経済活動面から支援

#### プロジェクト対象事業領域

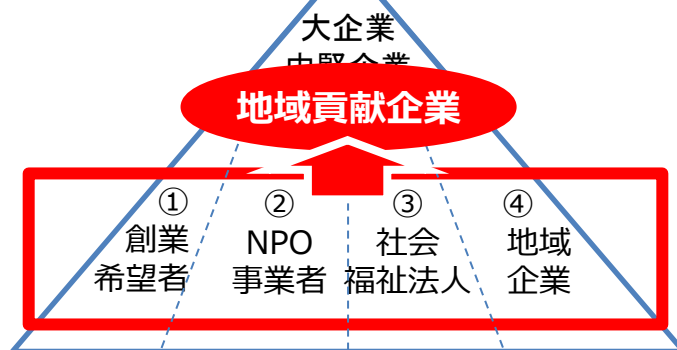
↓ ①本実証実験はこの領域での活用を検証



②本実証実験による知見を蓄え、将来的に対象範囲を拡充

#### プロジェクトの主な対象事業者

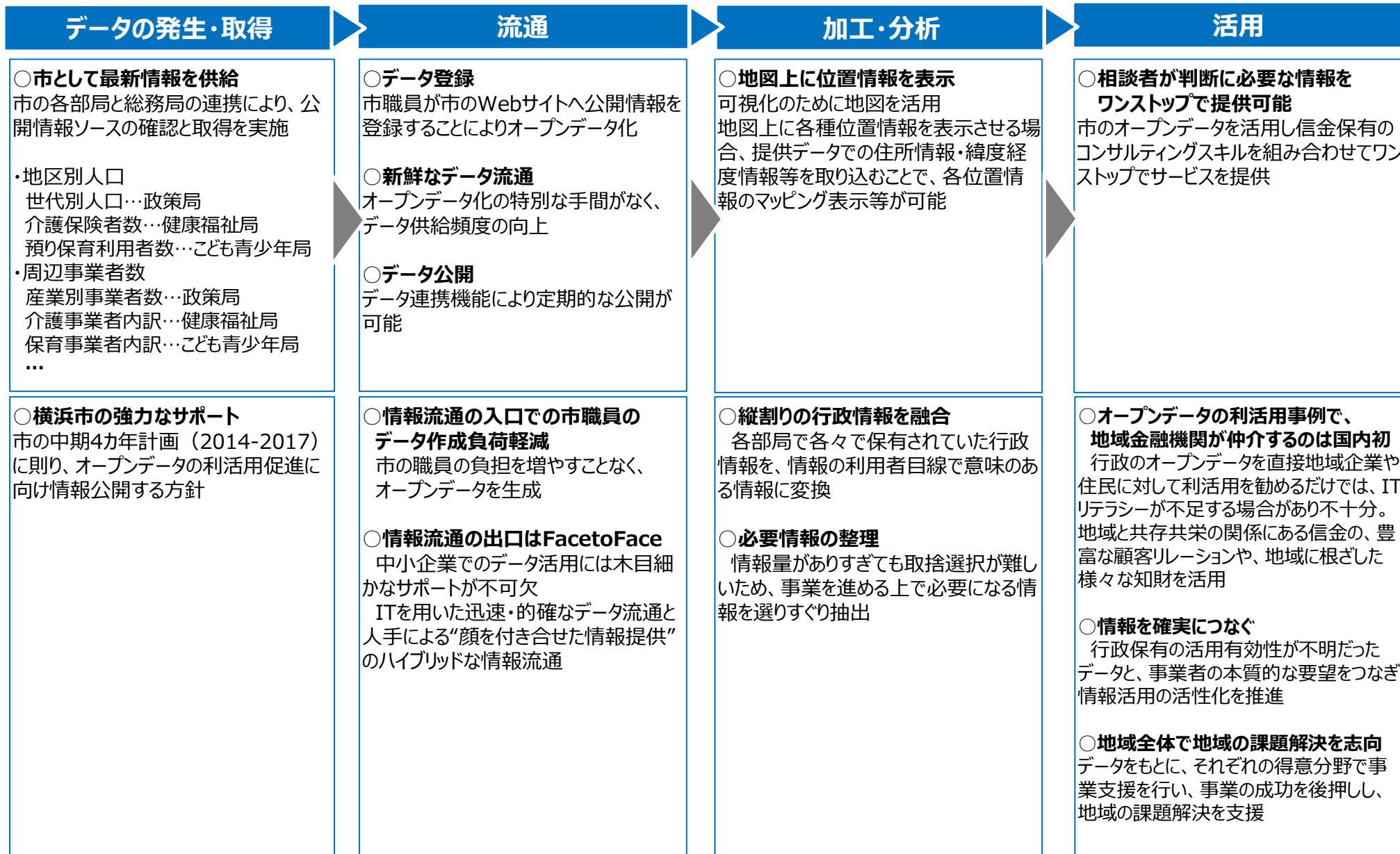
ダブルケア支援事業者の事業安定化・拡張  
→地域に根ざし、地域を愛し、地域に愛される  
企業への成長を支援



### 3. 昨年からのプロジェクト活動実績

- ・2014年8月、横浜市・横浜信用金庫・日本ユニシスで「オープンデータ活用のための研究プロジェクトに関する連携協定書」を締結。現場職員によるワークショップを数回開催し、オープンデータ利活用に関する課題の抽出と整理を実施。3者間の良好なリレーションを構築。

# 2. 提案の特徴



# 3. 実施内容 役割

## 横浜市の課題

LOCAL GOOD YOKOHAMA

このまち、わたしから未来を創る

プロジェクトを探す プロジェクトを立ち上げる ログイン

ホーム 課題を知る データを見る 活動を知る 支援する

横浜から全国へ！ダブルケア（育児と介護の同時進行）サポート横浜プロジェクト

プロジェクトの課題カテゴリー  
子育て、まちづくり、女性、高齢者

ダブルケア当事者に寄り添うサポーター研修プログラム、当事者の声をもとにしたハンドブックをつくり、地域で支えあう人のネットワークを築きたい！

プロジェクトオーナー： 榎木美子

Tweet 8+1 1

プロジェクト説明 必要資金の内訳 支援者 (36) スキル・物品支援マッチング (4) ブログ/活動報告 (8)

### 超高齢化

75歳以上の人口

### 少子化

30・40歳代の人口

### 晩産化

出産年齢35～39歳の母親の割合



## 横浜信用金庫の役割

### <信用金庫とは>

- 営利企業ではない公共性をもつ
- 信用金庫は地域から離れられない
- 地域の経済と共存共栄の関係  
⇒そのため、リレーションシップバンキング※が生命線

### <横浜信金の特徴>

- 地域に根ざした顧客ネットワーク
  - 横浜市内の住民・事業者との接点が高い  
(市内店舗展開、相談ブース、渉外員)
- ※リレーションシップバンキング（リレバン）とは
- 金融機関が顧客との間で親密な関係を長く維持する。
  - それによって顧客に関する情報を蓄積する。
  - その情報を基に貸出等の金融サービスの提供を行う。  
(金融庁 金融審議会による定義)

### 共通の使命：地域の活性化



地域のために同じ使命を持つ横浜市と横浜信用金庫が協働。日本ユニシスが連携モデルを支援。

- 官・金・産がやるべきことを整備 ⇒横浜市は効果的・効率的な情報提供
- 官・金・産との協働を構築 ⇒横浜信金はデータ活用の担い手
- ⇒日本ユニシスは情報連携モデルの構築を支援
- ⇒横浜市と横浜信金、横浜信金とダブルケア支援事業者

### 3. 実施内容 概要

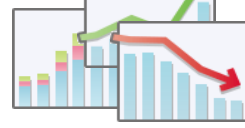
オープンデータに基づく情報メニューの中から、相談者にとって有益な情報をわかりやすく説明する。

#### 横浜信金の相談ブース

横浜市のダブルケア支援を担っている以下4形態の事業者に対し、横浜信金の相談ブースにて事業支援を行なう

- |          |                |                    |
|----------|----------------|--------------------|
| ① 創業希望者  | <b>設立支援</b>    | 2-3人で事業を始めたい       |
| ② NPO事業者 | <b>事業支援</b>    | 今の事業スキームを強化したい     |
| ③ 社会福祉法人 | <b>事業拡大</b>    | 地域のニーズに合わせ事業を拡大したい |
| ④ 地域企業   | <b>事業転換/拡張</b> | 新規事業として介護事業を始めたい   |

たとえば…  
横浜市内のエリア情報を説明



事業支援者



相談者



事業相談



情報提供・事業支援



オープンデータを元にした情報

信金職員



### 3. 実施内容 情報メニュー【案】

情報メニュー【案】		
	情報分類	提供情報
エリア	事業エリア 不動産情報 規制情報	地区別人口、周辺事業者、公共交通機関情報、防災情報 空き家情報、近隣施設 住宅用途地域、規制区域
経営 (資金相談)	事業計画 開業資金・運転資金 補助・助成 事業内容 需要情報	事業計画相談 資金計画相談、事業資金調達相談 補助金情報 業種・業態ごとの手引き 需要予測、市幹旋地区
サービス支援者	サービス協力先	地域ケアプラザ、連携NPO
手続	手続ガイド 必要書類	手続ガイダンス 市から提供
その他	市民の声	苦情情報、相談情報

# 3. 実施内容 情報提供イメージ

創業  
希望者



横浜市で  
事業を  
はじめたい!

エリア	経営(資金相談)			情報提供イメージ (例:介護)	
	介護	家事	子育て		
①横浜市の 区別人口予測	○ 介護保険 者数	○ 無業者 / 就業者数	○ 預り保育 利用者数	事業性相談 補助金情報(国・自治体) 設備需要のサポート融資	今後65歳以上人口がもっとも増える区は青葉区です。 2015年 59,114人 (19.1%) 2035年 95,146人 (31.1%) 今後20年で 36,032人増 (12.0%増)
②周辺エリアの 事業所	○ 介護 事業者数	○ 家事代行 事業者数	○ 保育 事業者数	周辺事業者の公開財務情報 (IRなど)	現在、訪問サービスは**社あり、充足していますが、入浴ケア 事業者が不足しています。
③周辺エリアの 交通事情	○ 交通機関 距離別 住宅数	○ 交通機関 距離別 住宅数	○ 交通機関 距離別 住宅数	車両補助金情報 ローン情報	高齢者が増加する地区は、青葉区**町が予測されています。 近辺の公共交通機関が不便なため、周回バスがあると便利です。
④周辺エリアの ハザードMAP	○	-	○	地盤改良補助金 ...	<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>横浜信金のコンサルティングスキル</b> × オープンデータ ⇒ ワンストップでの情報提供</p> </div>
⑤空き不動産	○	○	○	周辺不動産賃料相場	
⑥市の住民 アンケート ...	○	-	○	事業所設置資金相談 ほか エリアに紐づく情報	

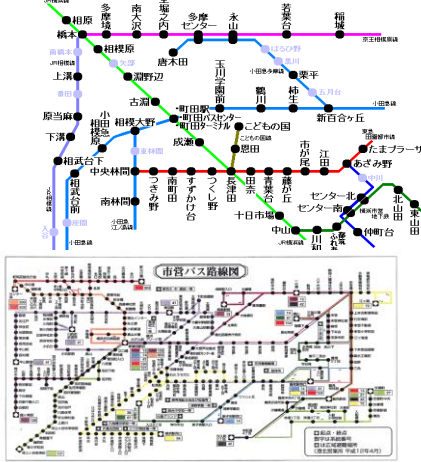
①横浜市青葉区の高齢者人口予測

	2015年	2035年
総数	308,861	306,334
0~4歳	13,216	10,993
5~9歳	13,703	10,877
10~14歳	15,480	10,882
15~19歳	18,822	12,630
~	~	~
65~69歳	18,892	25,091
70~74歳	14,794	21,202
75~79歳	10,750	15,079
80~84歳	7,487	12,125
85歳以上	7,191	21,649

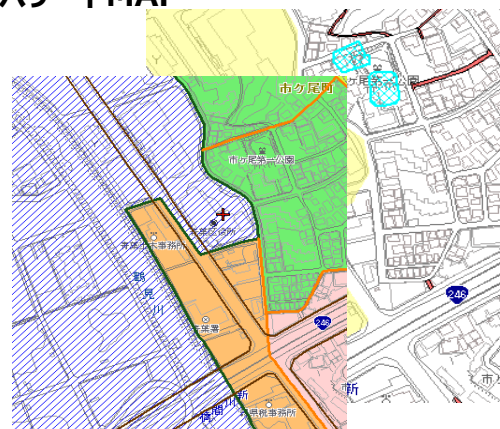
②周辺エリアの事業所



③周辺エリアの交通事情



④周辺エリアのハザードMAP

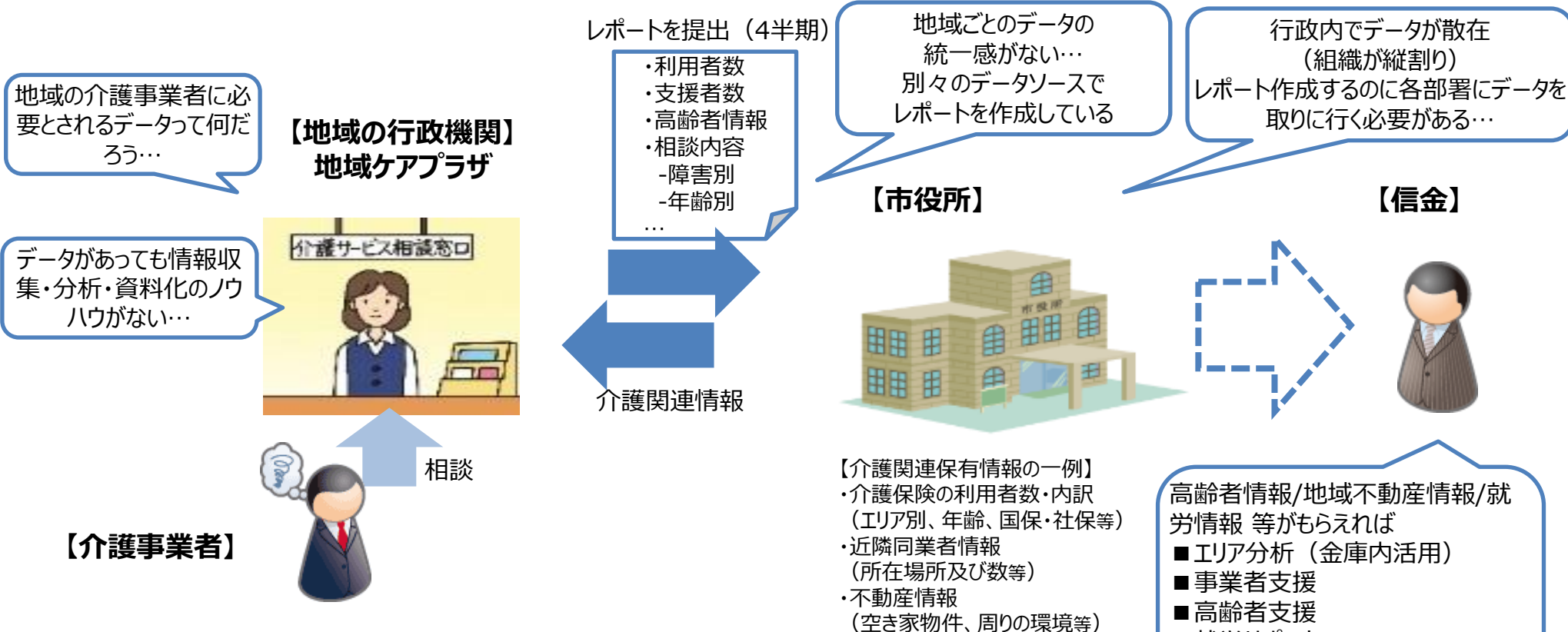


※表示情報は想定イメージです。7



# 【ご参考】2014年ワークショップでの気づき

## <介護事業者向のオープンデータ活用を想定した課題共有>



### ワークショップの結果気づいたこと

- **情報連携が密になる体制を構築する**
  - 反応が見える、ニーズがわかる、気持ちができる、対話が生まれる、新しいアイデアがわく
  - 地域のための強力なステークホルダーとして「信金」
  - 事業者の相談間口が広がる、事業のファイナンスを見てくれる、経営支援のノウハウも
- **情報連携に適切なITを使い、省力化・効率化を行う**
  - 情報流通の流れをつくり、データ提供を効率化する

## 4. 期待する効果

評価指標		目標値	
<b>相談数</b>	団体数 相談会の開催回数	相談者数 相談会回数	10団体 20回
<b>行政・信金</b> 資金需要への 対応を含めた ワンストップ支援	潜在的資金需要の発掘数 サポート産業育成力の向上	<アンケート評価> 将来的な融資の 申込希望  相談継続意向	5割以上  5割以上
<b>事業者</b> 地域貢献企業の 育成	ダブルケア支援事業者の 経営支援	<アンケート評価> 肯定意見の獲得	7割以上
<b>利用者</b> ダブルケアラー※ 支援 ※育児と介護が 同時進行している人	ダブルケアラーの負担減	<アンケート評価> 本取り組みに対する 負担軽減への期待 感獲得	7割以上

### 地方創生への 貢献

“まち”における  
地域共創による公  
的課題の解決

“ひと”のための  
新しい社会的  
セーフティネットの  
再構築

“しごと”として  
地域企業の活性  
化と雇用創出

# 5. スケジュール

2015年度	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実証実験データ手配	基本情報入手			逐次追加情報入手				
実証環境構築	事業者支援ポータル構築							
実証作業	相談者募集		支援者調整		実施内容詳細化			
場所：横浜信用金庫 相談ブース					現場実証			
評価・報告書作成							評価・分析 報告書作成	

# 6. 実施体制

地域金融機関と共に進める、  
ダブルケア（介護・子育て）関連事業者支援プロジェクト

